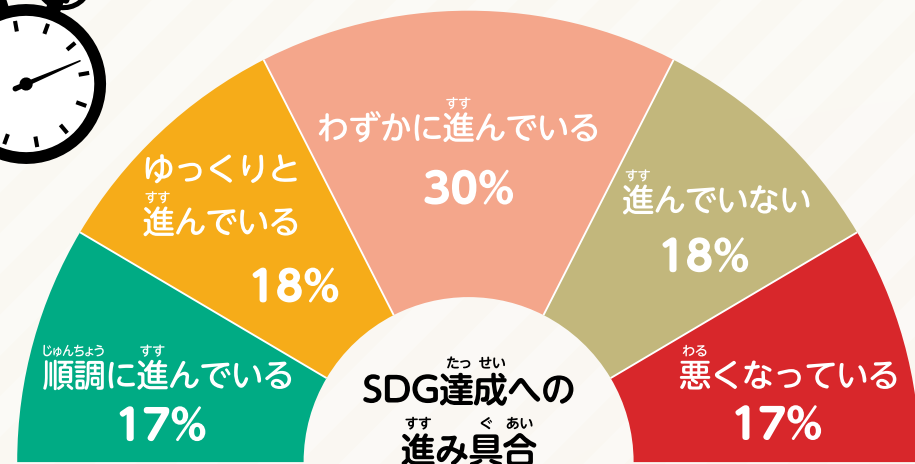


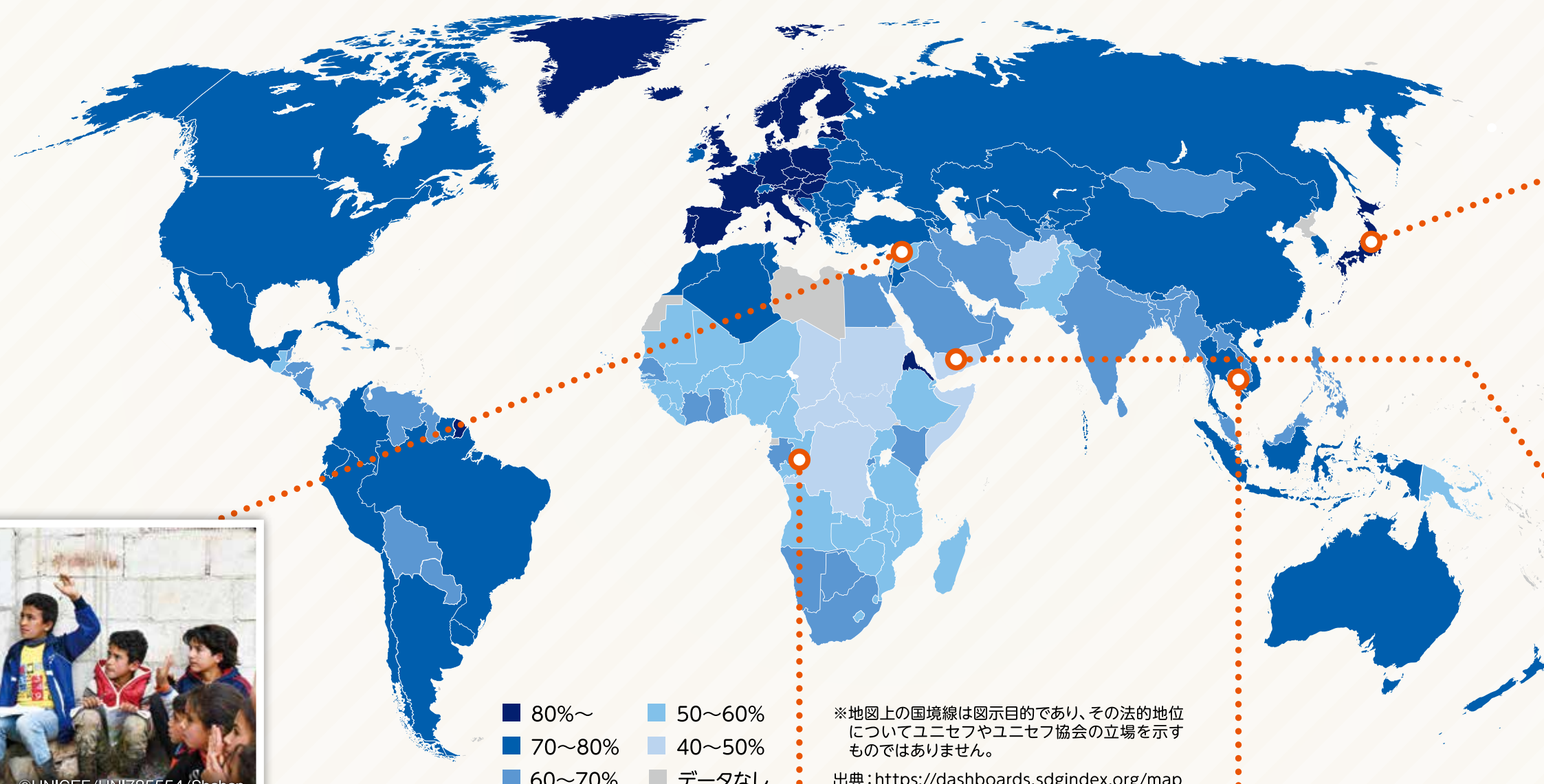
SDGs達成のタイムリミットまであと5年 世界のいま

SDGs目標達成のタイムリミットは2030年。それまでに達成可能な目標は17%、そして2015年の基準を下回ってしまっている目標も17%あることがわかりました。私たちに与えられた時間はあと5年。「誰ひとり取り残さない」持続可能な世界を実現するため、どんなことができるでしょうか。いま、もう一度みんなで考えてみましょう。



出典：持続可能な開発目標(SDGs)報告書2024

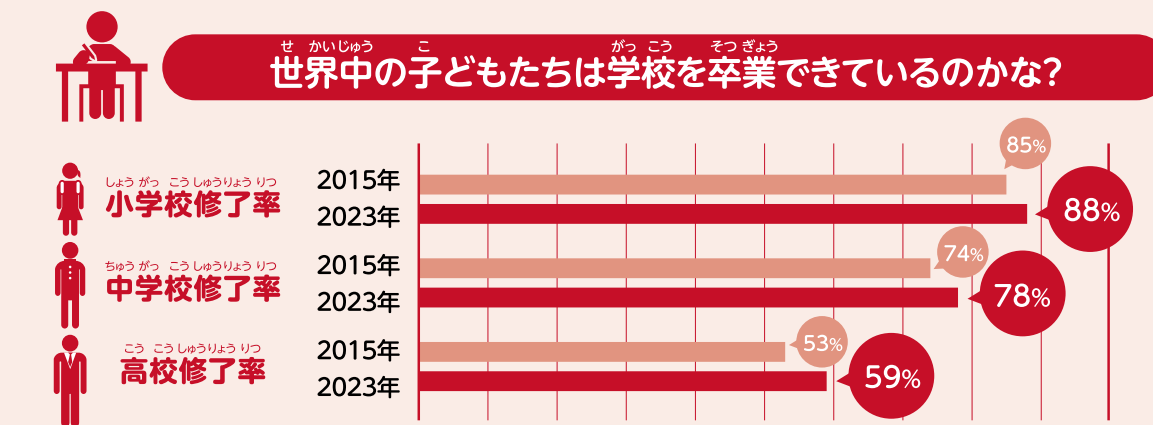
世界のSDGs達成状況



出典：<https://dashboards.sdgindex.org/map>

4 質の高い教育をみんなに 質の高い教育をみんなに

学校を卒業できる子たちが増えた！
東アジア・東南アジアでは、高校を卒業した子どもの割合が2015年の63%から2023年の74%まで増えました。でも、サハラ砂漠より南のアフリカの国々では、留年せずに小学校を卒業するのは3人に2人です。



出典：The Sustainable Development Goals Report 2024

それでも学びたい (シリア)

おもちゃと間違えて触ってしまった不発弾が突然爆発。モハメドさん(13才)は6年前に右腕と左手の指を失いました。安全を求めて避難民キャンプで暮らすようになり、学校にも通えませんでした。でも今はユニセフが支援する移動教室に通っています。「朝は教室で勉強して、家に帰ったら羊の世話。そのあと暗くなる前に予習と宿題をします!」と明るく話します。



© UNICEF/UNI785554/Shahen

13 気候変動に具体的な対策を 気候変動に具体的な対策を

観測史上もっとも暑かった2024年
いま、過去80万年の間で大気中の温室効果ガスの濃度がもっとも高い状態が続いています。さらに、1880年からの観測記録を見ると、2024年が一番暑い年となりました。山火事や大型台風、干ばつや洪水などの気象災害が世界中で発生し、それによる大気汚染や洪水でたくさんの人びとの生活が脅かされています。

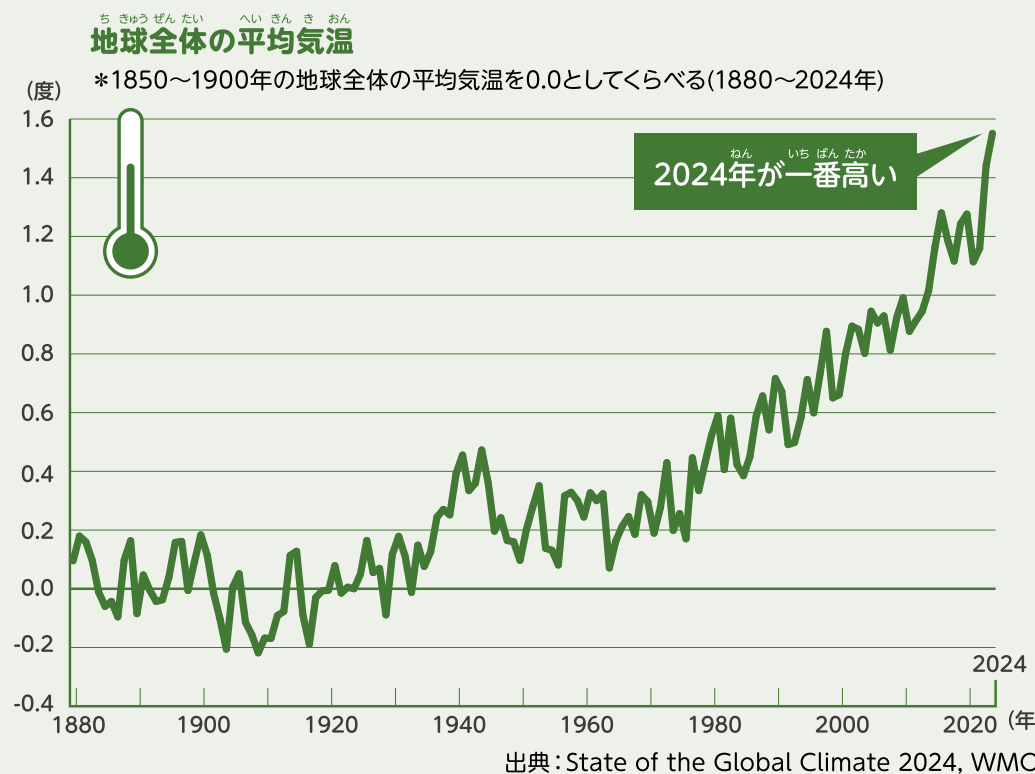
わたしたちの環境を守ろう (コンゴ民主共和国)

「学校が少しずつ消えていくのが心配です」と話すのは、アルフレッドさん(12才、写真左)。50年前、アフリカ最大級の湖の岸边から300m離れた場所に建てられた学校はいま、12あった教室のうち8つが水に浸かり使えません。



© UNICEF/UNI806333/Mulala

気候変動の影響



日本のSDGsの状況について見てみよう！

日本では、目標2の「飢餓をゼロに」は目標達成に向けて大きな課題があり、2015年より状況が悪化。目標5「ジェンダー平等を実現しよう」は目標達成まではまだ遠いですが、少しずつよくなっています。



いまの様子

- 😊 できている
- 😊 もう少し
- 😞 あまりできていない
- 😞 ほとんどできていない

進みぐあい

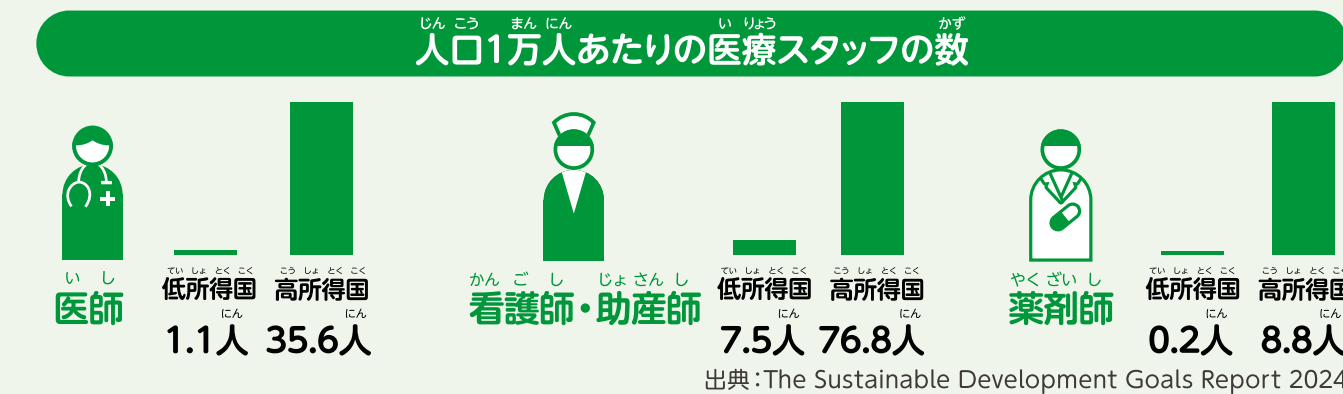
- ↑ 順調に進んでいる
- ↑ よくなくてきている
- 進んでいない
- ↓ 悪くなっている
- *** わからない

日本の達成度 165か国中 **19位**(2025年)

出典：Sustainable Development Report 2025

3 すべての人に健康と福祉を すべてのの人に健康と福祉を

世界の医療の不平等
いま、世界人口の半分以上が基本的な医療サービスを受けられていません。低所得国では医療スタッフの人手不足が深刻なだけでなく、医療設備や技術が十分でないことも課題となっています。世界全体で、人口も医療スタッフも高齢化が進んでいます。



出典：The Sustainable Development Goals Report 2024

将来への歩みを支える義足 (イエメン)

紛争でイエメンの人びとの生活はどんどん貧しくなっています。足の傷を治療できず右足を切断することになったカディジャさん(9才)。この日、待ちに待った義足が完成しました。「歩く練習のために何度学校を休むことになっても、必ず卒業します!」と話し、頑張って訓練に取り組んでいます。



© UNICEF/UNI719320/Qaderi

6 安全な水とトイレを世界中に 安全な水とトイレを世界中に

取り組みをもっと早く!
安全な飲み水、きれいなトイレ・手洗い施設を使える人は増えています。でもSDGs達成には、飲み水は6倍、トイレは5倍、手洗い施設は3倍以上、いまよりも早い速度で取り組んでいく必要があります。

安全な水とトイレへのアクセス



水と衛生支援で変わる学校生活 (カンボジア)

フィアクトラさん(13才)の学校にトイレや手洗い施設ができました。変わったのは衛生状況だけではなくありません。「前はみんなでバケツで水を運んで、タンクに貯めていたの。重くて疲れるし、勉強できる時間も限られていました。でも今は授業に集中できて学校にいることを楽しめるようになったよ。」



© UNICEF/UNI630764/Potzoll